

創ろう！  
守ろう！

# 地域の文化

教育委員会は、市内で活躍する文化団体を支援するため、国・県などのさまざまな助成制度の活用を図っています。

昨年度は3種類の助成制度を活用して10団体が成果をあげ、今年度も、すでに4種類7団体が採択を受け、事業の成功に向けて準備を進めています。



生涯学習課文化振興係 ☎0824-73-1189

## ●採択事業

(平成19年7月現在)

助成制度	事業名	団体名	助成額
財団法人ひろしま文化振興財団 成果発表支援事業	庄原市民俗芸能大会開催事業	庄原市民俗芸能大会実行委員会 (中島巖会長)	295,000円
独立行政法人日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金助成金	板橋西原八幡神社の祭礼神儀	板橋西原八幡神社総代会 (林保武総代長)	900,000円
財団法人伝統文化活性化国民協会 伝統文化こども教室 (文化庁委嘱)	技術のふるさと体験こども教室	音からくりの会 (盛谷強代表)	479,000円
	庄原市装道和装礼法こども教室	庄原市装道和装礼法こども教室実行委員会 (服部清二代表)	220,000円
	ちびっこ生花教室	田森公民館 (田辺恒治館長)	53,000円
文化庁 「文化芸術による創造のまち」支援事業	こども神楽塾	比婆荒神神楽東城後援会 (藤原輝忠代表)	177,000円
	庄原子どもミュージカル「星の王子さま」	庄原市「文化芸術による創造のまち」支援事業実行委員会 (児玉節委員長)	3,292,000円

## ●庄原市民俗芸能大会

合併から3年目の今年、市内の国・県・市指定無形民俗文化財の保有団体が互いに連携し、地域の伝統文化に親しむ機会を多くの人に提供するため、庄原市民俗芸能大会を行います。

「伝統文化が息づくまち、庄原市」という魅力的な地域イメージを市内内外へ発信しようと、庄原市民俗芸能大会実行委員会を設立し、11月25日(日)に市民会館で行われる公演に向けて準備に取り組んでいます。

## ●板橋西原八幡神社の祭礼神儀

西原八幡神社(板橋町)は、室町時代の建築様式を伝える本殿や、明治9年に絵馬として奉納された「測量図」など、庄原地域を代表する文化財の宝庫です。毎年9月の例大祭で氏子によって奉納される「舞い打ち」も、古式を残した伝統芸能として市の無形民俗文化財に指定されています。



西原八幡神社総代会の指導のもと、地域の子どもたちが「舞子」「手拍子」などの練習を重ね、今年も9月30日(日)の現地公開に臨みます。

いよいよ本番。子どもたちは「口から心臓が飛び出しそう。ドクドクする」と言いながらも、思いっきり広い舞台を飛び跳ね、それぞれの個性が混ざり合い、すてきな舞台を創り上げました。子どもたちの努力と多くの人たちの協力で、「ピーターパン」の公演は大成功。1日2公演で観客動員数は1,700人と、市民会館で行った一事業の動員数としては過去最高を記録しました。

企画や準備、資金集め、運営もすべて素人の市民が担当しました。自分たちでも、新しい地域の文化を創るエネルギーを持っているんだと、このミュージカルを通して実感しました。

以来、多くのボランティアの人たちに支えられ、庄原子どもミュージカルが続いています。

今年度は、10月28日(日)に市民会館でミュージカルを行うほか、文化庁から助成金をいただき、10月に庄原中学校3年生を対象に、ミュージカルセミナーを行います。

「子どもの本来の生命は喜びにあふれています。笑いたくて、飛び跳ねたくってウズウズしているものです。その躍動する生命を引き出し、感性が豊かになってほしい。そして、自分自身を思いっきり発揮してほしい」。実行委員はそう願っています。

これからも、子どもたちが元気になる場づくりとして、地域の皆さんに愛されながら、子どもミュージカルを育てていきたいと思ひます。

## ●技術のふるさと体験 こども教室

口和郷土資料館は、昔の蓄音機や電話機、35ミリ映画の映写機など、開発初期の情報機器が収集・展示され、当時のままに息を吹き返した機器で当時の作品を楽しめるユニークな資料館です。

この資料館の後援会「音からくりの会」の主催で、技術の面白さと物作りへの興味、物を大切にする心を学ぶ「技術のふるさと体験こども教室」(7月21日～11月4日、全10回、対象は小学3～6年生)が行われます。

## ●庄原市装道和装礼法 こども教室

着物(浴衣)の着装を通して、基本的な礼法を地域の小学生に学んでもらうため、「庄原市装道装礼法こども教室」(6月20日～3月31日、全20回、対象は小学3～6年生)を、比和小学校で行います。

## ●ちびっこ生花教室

田森公民館が、季節や行事にあった生花の体験を通じて子どもの発想と感性を伸ばし、花を愛する心を育てるため、「ちびっこ生花教室」(6月2日～3月15日、全13回、対象は小学3～

6年生)を行います。この教室では、地域での交流生花会など、花を通して子どもたちが地域の人と関わりをもつ行事や、粟田小学校の授業参観日での作品展など成果を発表します。

## ●こども神楽塾

国指定重要無形民俗文化財「比婆荒神神楽」の実技を未来へ伝承するため、比婆荒神神楽東城後援会が「こども神楽塾」(6月9日～3月8日、全13回、対象は小学1～6年生・未就学児)を田森公民館で行います。

比婆荒神神楽社中の指導のもと、年間数回の施設訪問や、地域のイベントに参加して練習の成果を披露します。



## ●文化振興に関することは生涯学習課へ

文化振興に関する助成制度の趣旨・対象・上限額・条件などは、それぞれ異なります。助成制度の活用を希望する団体は、各種制度を紹介いたしますので、生涯学習課文化振興係までご相談ください。

## インタビュー

子どもたちの「いい顔」が見たい!

庄原子どもミュージカル

「文化芸術による創造のまち」支援事業実行委員会

保村 深雪さん



「子どもたちのいい顔がみたいんです。子どもたちに本物に触れさせてやりたいんです」。平成12年、庄原子どもミュージカルが生まれました。

集まった実行委員会のメンバーは、素人ばかり。「予算400万円をどうやって集めるのか、子どもたちは集まるのか、こんな田舎で本当に子どもミュージカルができるのか」不安いっぱいでした。

ドキドキの体験レッスン初日。予想を超える124人の参加者と、大阪でミュージカルひろば「星のこども」を主催している増田先生の魅力的な指導に実行委員は大満足。練習を重ねるたびに、子どもたちの目が輝き、引っ込み思案だった子が少しずつ手足を高く伸ばし、元気になっていきました。子どもたちのやる気に触れ、私たち実行委員もがんばらなければと、寄付集めやチケットの販売に汗を流しました。